

まずはこちらの資料をご覧ください

1. アンケートの目的

現在の春日井市下水道基本計画は、市街化区域と市街化調整区域の一部に下水道を整備することとしており、令和 20 年度までの下水道を整備する地域を決定しています。

この度、上位計画である愛知県の「名古屋港海域等流域別下水道整備総合計画」が改定され、川へ流れる水質の基準が緩和されました。これにより、現在の計画区域の全てに下水道を整備しなくても済むこととなりました。

今回のアンケートは、住民の皆様の生活排水の処理状況や下水道整備への意向を把握し、計画区域の縮小も含め、今後の春日井市下水道基本計画の見直しをすることを目的としています。

1. 対象者：戸建てにお住まいの 18 歳以上の方（無作為抽出）
2. 回答期限：令和 8 年 9 月 30 日（水）
3. 回答方法：別紙アンケートにある QR コード or 用紙を返信用封筒にてご返送
4. 対象区域：下水道未整備区域

2. 生活排水の処理方法

現在、市内で利用されている主な排水処理方法は、以下の4つの形式です。

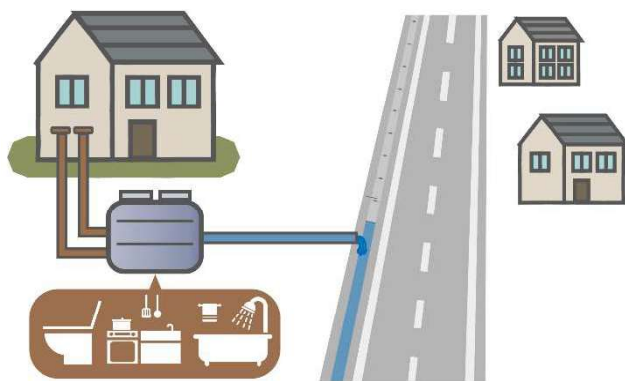
下水道

- ご家庭から出るトイレ・台所・お風呂などの全ての排水を、「下水道管」により集め、市が管理する「下水処理場」で処理します。
- 下水道は、地域全体の排水をまとめて処理する仕組みを持つ公共のインフラ（基盤）です。



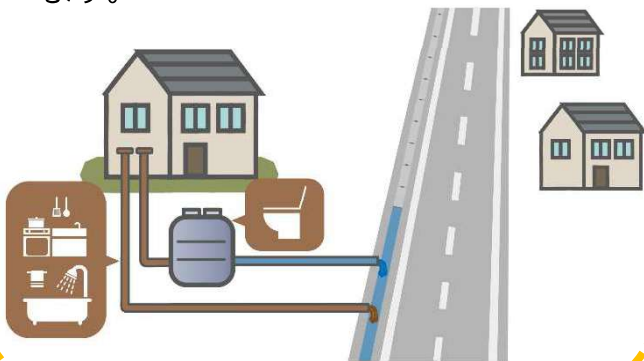
合併処理浄化槽

- ご家庭の敷地内に設置した浄化槽を使って、トイレ・台所・お風呂などの全ての排水を処理し、道路側溝へ流します。
- 浄化槽の設置・管理は各ご家庭（個人）で行っていただきます。



単独処理浄化槽

- トイレの汚水のみを浄化槽で処理し、道路側溝へ流します。
- 台所やお風呂の排水は処理されずそのまま道路側溝へ流します。
- 水環境への影響が大きく、現在は法律により新たに設置することが禁止されています。



汲み取り式

- トイレの汚水を貯留し、定期的にバキューム車で汲み取り、処理します。
- 台所やお風呂の排水は処理されずそのまま道路側溝へ流します。
- 水環境への影響が大きく、現在は法律により新たに設置することが禁止されています。



3. 各ご家庭が 30 年間で負担する費用の比較（目安）

現在、合併処理浄化槽で処理されていることを前提に、将来下水道に接続した場合と、合併処理浄化槽を継続利用した場合の費用比較となっております。

	下水道に接続した場合	合併処理浄化槽を継続利用した場合
① 設置にかかる費用 	47.3 万円 ・ 接続費 ・ 受益者負担金 （宅地面積 159 m ² ）	0 円 すでに合併処理浄化槽が設置されているため、設置時の費用はかかりません。
② 維持管理などの使用中にかかる費用 	2 人暮らしの場合 3.3 万円/年 （使用水量 19 m ³ /月の下水道使用料） 4 人暮らしの場合 4.6 万円/年 （使用水量 26 m ³ /月の下水道使用料）	6.7 万円/年 （5 人槽の維持管理費） ・ 清掃、汚泥処理代（1 回） 2.6 万円/年 ・ 保守点検代（3 回） 1.5 万円/年 ・ 法定検査代（1 回） 0.6 万円/年 ・ 電気代 1.5 万円/年 ・ ブロア交換代 0.5 万円/年 （8.2 年に 1 回の交換を想定）
③ 更新にかかる費用 	0 円 公共施設のため、設備更新の費用はかかりません。	98.1 万円 浄化槽更新費 （家の建て替えなど 30 年間で 1 回の更新を想定）
合計 （①+②+③） 30 年間に かかる費用 	185.3 万円 ・ ①設置にかかる費用 ・ ②維持管理などの使用中にかかる費用 （4 人暮らしを想定）	299.1 万円 ・ ②維持管理などの使用中にかかる費用 ・ ③更新にかかる費用

注 1）単独処理浄化槽・汲み取り式の場合は、本事例とは異なります。

注 2）合併処理浄化槽の費用は環境省資料などを基に算出しています。

注 3）令和 8 年 8 月に算出しています。

4. 下水道と合併処理浄化槽のメリット・デメリット

それぞれの処理方式には、以下のメリット・デメリットがあります。

下 水 道

メリット

- 市が維持管理の主体となることで、ご家庭での管理の手間がかかりません。



- 地下に埋設された下水道を通じて排水が下水処理場に集められて処理されるため、道路側溝での悪臭や害虫の発生が少ないです。

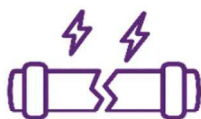


デメリット

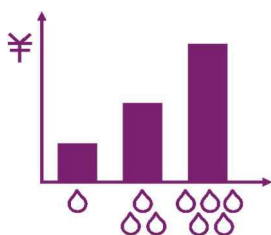
- 下水道未整備地域の整備が完了するには50年以上かかります。



- 地震や洪水等の災害時に下水道管などが下流側で一部でも被災した場合、排水ができなくなる可能性があります。また、復旧に時間がかかります。



- 下水道接続時には受益者負担金や接続工事費が必要となります。また、使用水量に応じて下水道使用料が増加するため、使用水量が多い世帯は費用が高くなる可能性があります。



合併処理浄化槽

メリット

- 災害時に、ご家庭の浄化槽などに被害がなければ通常通りの排水が可能です。



- 使用水量にかかわらず、維持管理にかかる費用については大きな変動がありません。

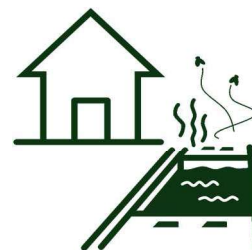


デメリット

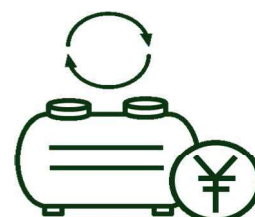
- 使用者が設備を自分で管理する必要があるため、点検や汚泥の処理など、維持管理の手間がかかります。



- 浄化槽からの処理水が原因で、放流先の道路側溝から悪臭や害虫が発生する可能性があります。



- 浄化槽が老朽化した場合などには、更新する費用がかかります。



下水道整備に関するアンケート

お手持ちのスマートフォンなどの端末でQRコードを読み込み回答をお願いいたします。お持ちでない方は、この用紙に回答をご記入の上返送をお願いいたします。

1. スマートフォンなど（QRコード）で回答される方

以下のQRコードを読み取り、専用フォームよりご回答をお願いいたします。
できる限り、QRコードからの回答をお願いいたします。



2. この用紙で回答される方

以下の質問事項にご記入いただき、お手数ですが同封の返信用封筒にてご返送
くださいますようお願いいたします。（切手不要）

【質問 1】

今の住宅に住んで何年か教えてください。

☐ 5 年未満 ☐ 5 年以上 10 年未満 ☐ 10 年以上 20 年未満 ☐ 20 年以上

【質問 2】

現在の生活排水の処理方式を教えてください。

☐ 合併処理浄化槽 ☐ 単独処理浄化槽 ☐ 汲み取り式 ☐ よくわからない

【質問 3】

お住まいの地域に下水道の整備は必要ですか。

☐ はい ☐ どちらかといえばはい ☐ どちらかといえばいいえ ☐ いいえ

『はい』、『どちらかといえばはい』と回答された方 ⇒ 質問 4 へ

『いいえ』、『どちらかといえばいいえ』と回答された方 ⇒ 質問は終わりです。

【質問 4】

お住まいの地域は、令和 21 年度以降の下水道整備候補地です。

整備する場合、令和 21 年度から何年以内に整備してほしいですか。

☐ 5 年未満 ☐ 5 年以上 10 年未満 ☐ 10 年以上 20 年未満 ☐ 20 年以上

【ご意見・ご要望】 ご自由にお書きください。